

# 中学校国語科

## 1 改訂の趣旨

- 言葉を通して的確に理解し、論理的に思考し表現する能力、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成することや、我が国の言語文化に触れて感性や情緒をはぐくむことを重視する。
- 子どもたちの発達段階を踏まえた学習の系統性を重視し、学校段階・学年段階ごとに、具体的に身に付けるべき能力の育成を目指し、重点的な指導が行われるようにする。
- 我が国の言語文化を享受し継承・発展させるため、生涯にわたって古典に親しむ態度を育成する指導を重視する。

## 2 改訂の要点

### (1) 目標及び内容構成

ア 教科目標（これまでと変更はない）

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

イ 内容の構成の改善

3領域と〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に改めている。また、目標と内容は、各学年ごとに示している。これまでは指導計画の作成と内容の取り扱いに示していた言語活動例を内容に位置付け、再構成している。

### (2) 学習過程の明確化

自ら学び、課題を解決していく能力の育成を重視し、学習過程全体が分かるように内容を構成している。

### (3) 言語活動の充実

各領域においては、内容の中に社会生活に必要とされる発表、案内、報告、編集、鑑賞、批評などの言語活動を具体的に例示している。

### (4) 伝統的な言語文化に関する指導の重視

創造と継承を繰り返しながら形成されてきた伝統的な言語文化に親しみ、継承し、新たな創造へとつないでいくことができるように内容を構成している。

## 3 新学習指導要領全面実施に向けた授業づくり

### (1) 「言語活動の充実」を目指した授業づくり

ア 「A話すこと・聞くこと」

調べて分かったことに基づいて説明する活動を行う場合、聞き手に分かりやすく説明するための方法を考えさせるために、資料や情報機器等の活用を積極的に取り入れることが大切である。

イ 「B書くこと」

自分の好きな絵画について鑑賞文を書く活動を行う場合、根拠を明確にして書かせるために、複数の観点から対象を味わわせ、具体的な表現を取り上げながら自分の味わい方について書かせることが大切である。

ウ 「C読むこと」

引用して本を紹介する活動を行う場合、本を読んで感じたことを叙述に即して整理させるために、ブックトークなど多様な活動を工夫して取り入れる必要がある。

### (2) 新たな指導事項に対応した授業づくり

ア 「A話すこと・聞くこと」の「聞くこと」に関する指導事項

目的を明確にして、それに応じた話し合いの場面を具体的に設け、質問の内容や仕方、聞いた後の考えの整理の仕方を考えさせるための工夫が必要である。

イ 「B書くこと」の「交流」に関する指導事項

書いた文章を読み合う際に、構成や材料の活用などについて自分が工夫した点を交流し、それに対して助言し合うなど、評価の視点を明確にして交流させることが大切である。

ウ 「C読むこと」の「自分の考えの形成」に関する指導事項

文章の構成や展開、表現の特徴に着目させ、その工夫や効果について考える場を設定し、文章の内容とともに形式に対しても自分の考えが持てるように工夫することが大切である。

〔資料〕 内容の改善とポイント解説

領域・事項	現行	新	主な内容の改善点	ポイント解説
A 話すこと・聞くこと	発想や認識	話題設定や取材	<p>* 「話すこと」と「聞くこと」の指導事項を分けて示すことにより、聞くことの内容を一層明確にしている。</p> <p>・ 単に相手の話を聞くだけでなく、聞き取ったことを自分の考えに生かすことを示している。</p> <p>・ 話し合うことの指導では、話し合いを通じて合意形成を目指すこととしている。</p>	<p>○ 能動的に聞く力の育成を重視</p> <p>○ 「聞くこと」の指導と評価の方法の改善が必要</p> <p>○ 話し合いの指導では、「話すこと」と「聞くこと」の密接な関連を図ることが必要</p>
	考えや意図	話すこと		
	話題			
	構成や論理	聞くこと		
	語句や文			
	話し合い	話し合うこと		
B 書くこと	発想や認識	課題設定や取材	<p>* 「課題設定や取材」、「交流」に関する指導事項を新たに設けている。</p> <p>・ 課題設定から交流に至るまでの学習過程を見通した指導を求めている。</p> <p>・ 書いた文章を読み合い、構成や材料の活用の仕方などについて、意見を述べたり助言をしたり、評価することを加えている。</p>	<p>○ 材料を集める段階では、「話すこと・聞くこと」の「取材」、「読むこと」の「読書と情報活用」に関する指導との関連を図ることが大切</p> <p>○ 交流する際には、書く過程について、意見を交流させることが重要</p>
	事柄や意見			
	選材			
	構成	構成		
	記述	記述		
	推敲	推敲		
	評価・批評	交流		
C 読むこと	語句の意味や用法	語句の意味の理解	<p>* 「自分の考えの形成」、「読書」に関する指導事項を新たに設けている。</p> <p>・ 文章の形式と内容の二つについて、自分の考えを持たせることとしている。</p> <p>・ 説明的な文章の解釈に関しては、例示の効果や文章の展開の仕方をとらえること等を示している。</p> <p>・ 文学的な文章の解釈に関しては、登場人物の言動の意味や設定の仕方をとらえること等を示している。</p> <p>・ 読書で情報を得ることと、情報を活用し、読書を進めることを示している。</p>	<p>○ 自分の考えを持ち、それを表現させることが重要</p> <p>○ 読書と情報活用の関連を図ることが必要</p> <p>○ 必要な情報を得るための方法や様々な読み方について指導することが大切</p>
	内容把握や要約	文章の解釈		
	構成や展開			
	表現の仕方			
	主題や要旨と意見			
	ものの見方や考え方	自分の考えの形成		
	情報の活用	読書と情報活用		
国語の特質に関する事項と		伝統的な言語文化	<p>* 「伝統的な言語文化に関する事項」を小学校から位置付け、古典に関する指導内容を明確にしている。</p> <p>・ 古典の指導を〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕に位置付けることにより、「読むこと」の領域だけでなく、他の領域と関連付けて指導することを可能にしている。</p>	<p>○ 古典に関する指導内容を明確に示し、古典に一層親しむ態度の育成を重視</p> <p>○ 古典に親しみが持てるようにするためには、古典の原文に加え、現代語訳など、教材を工夫することが大切</p>
	音声、語句、語彙、話や文章・文、単語、言語生活	言葉の特徴やきまり		
	漢字	漢字		
	書写	書写		



4 移行措置

新学習指導要領によることもできる。現行学習指導要領による場合は、平成23年度第1学年の指導に当たっては、新学習指導要領の〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕の第1学年イ(ア)に規定する事項（音声の働きや仕組みへの関心等）を加える。